

## ❖ 著者紹介

**半田 吉信** (はんだ よしのぶ) **序, 第1章, 第5章～第8章 執筆**

### 略歴

1948年、広島県呉市に生まれる。1974年、京都大学大学院法学研究科(博士課程)中退。現在、駿河台大学法学部教授。

### 主要業績

『ドイツ債務法現代化法概説』(信山社, 2003年)  
 『契約法講義〔第2版〕』(信山社, 2005年)  
 『ドイツ新債務法と民法改正』(信山社, 2009年)  
 『ハーグ条約と子の連れ去り—ドイツの経験と日本への示唆』(法律文化社, 2012年)

**鹿野菜穂子** (かの なおこ) **第2章 執筆**

### 略歴

1959年生まれ。九州大学大学院法学研究科修士課程修了, 同博士後期課程単位取得退学。現在、慶應義塾大学大学院法務研究科教授。

### 主要業績

『高齢者の生活と法』(有斐閣, 1999年, 共編著)  
 『はじめての契約法〔第2版〕』(有斐閣, 2006年, 共著)  
 『プリメール民法1〔第3版〕』(法律文化社, 2008年, 共著)  
 『レクチャー消費者法〔第5版〕』(法律文化社, 2011年, 共編著)

**佐藤 啓子** (さとう ひろこ) **第3章, 第4章 執筆**

### 略歴

1965年生まれ。名古屋大学大学院法学研究科博士課程(前期課程)修了。現在、愛知学院大学法学部教授。

### 主要業績

「家族債務の処理と夫婦の連帯責任—家族法と財産法の交錯(1)—(4・完)」名古屋大学法政論集135号～138号(1991年)  
 「診療費債務の家事行為性について—ドイツの議論にみる」東京商船大学研究報告(人文科学)47号(1997年)  
 「ドイツ法における連帯債務者間の求償と婚姻関係」桃山法学創刊号(2003年)  
 「人としての消費者」名古屋大学法政論集201号(2004年)

**青竹 美佳** (あおたけ みか) **第9章, 第10章 執筆**

### 略歴

1975年生まれ。2004年、京都大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学。現在、大阪大学大学院高等司法研究科准教授。

### 主要業績

「財団法人の設立を遺留分法から保護する解釈論上の可能性について」千葉法学28巻1＝2号(2013年)  
 「相続廃除の基準としての『相続的協同関係の破壊』の現代的意義について」修道法学37巻1号(2014年)  
 『家族法』(日本評論社, 2015年, 共著)  
 「遺留分制度の意義について」『相続法の立法的課題』(有斐閣, 2016年)